

令和7年7月16日

千葉県農林総合研究センター長

I 向こう1か月間の予報

発生量及び発生時期は平年との比較で表す。予想発生量は「多」「やや多」「並」「やや少」「少」で表している。予報の根拠の(+)は多発要因、(-)は少発要因であることを示す。また、【 】内の数値は左側が6月下旬～7月上旬の発生予察調査のデータ、右側が平年値(過去10年の平均値)を示す。

なお、「並」とは平年値を中心にして40%の度数に入る幅、「やや多」「やや少」は「並」の外側20%の度数に入る幅、「多」「少」は上記3者の外側10%の度数に入る幅である。

また、下表の病害虫を防除する場合は、「千葉県総合防除計画」の該当ページ(※)の「総合防除の内容」を参照するとともに、3ページの「2 個々の病害虫に関する防除上の注意事項」も参考とすること。

千葉県総合防除計画(令和6年3月版)



作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠 (6月下旬～7月上旬の発生予察結果及び気象予報等)	※
イネ	いもち病 (穂いもち)	並	葉いもち発病株率：並【4.29%/6.18%】 気象予報：気温高(-) 降水量並	17
	紋枯病	多	発病株率：多【0.40%/0.06%】 (+) 前年8月下旬発病株率：やや多【11.20%/6.67%】 (+) 気象予報：気温高(+)	19
	イネカメムシ	多	本田すくい取り捕獲成幼虫数：多【0.33頭/0.04頭】 (+) 6月予察灯誘殺数：多【16.8頭/1.4頭】 (+) 気象予報：気温高(+)	-
	大型斑点米カメムシ類	多	本田すくい取り捕獲成幼虫数：多【2.26頭/0.54頭】 (+) 雑草地すくい取り捕獲成幼虫数：多【13.46頭/2.49頭】 (+) 気象予報：気温高(+)	21
	カスミカメムシ類	多	本田すくい取り捕獲成幼虫数：多【1.10頭/0.26頭】 (+) 雑草地すくい取り捕獲成幼虫数：多【89.54頭/29.07頭】 (+) 気象予報：気温高(+)	21
サツマイモ	ナカジロシタバ	並	寄生幼虫数：やや少【0.00頭/0.12頭】 (-) 気象予報：気温高(+)	22
	イモキバガ	やや多	寄生幼虫数：並【0.20頭/0.22頭】 被害葉率：並【1.00%/1.14%】 気象予報：気温高(+)	-

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠 (6月下旬～7月上旬の発生予察結果及び気象予報等)	※
ラッカセイ	白絹病	やや少	発病株率：やや少【0.00%/0.10%】（－） 気象予報：気温高（＋）降水量並	-
	褐斑病	少	発病度：少【1.30/4.74】（－） 気象予報：降水量並	-
秋冬ネギ	さび病	やや少	発病度：やや少【0.00/1.13】（－） 気象予報：気温高（－）	<u>34</u>
	ネギアザミウマ	並	寄生株率：並【7.50%/16.52%】 気象予報：気温高（＋）	<u>34</u>
	ネギコガ	並	被害株率：並【0.00%/0.16%】 気象予報：気温高（＋）	<u>35</u>
	シロイチモジヨトウ	やや多	被害株率：並【0.00%/0.20%】 6月フェロモントラップ誘殺数：やや多【1.41頭/0.40頭】（＋） 気象予報：気温高（＋）	<u>46</u>
サトイモ	アブラムシ類	並	成幼虫寄生程度：並【19.07/20.04】 気象予報：気温高（＋）降水量並	<u>42</u>
	ハダニ類	多	成虫寄生程度：多【35.47/17.18】（＋） 気象予報：気温高（＋）降水量並	-
野菜・花き共通	ハスモンヨトウ	並	6月フェロモントラップ誘殺数：並【4.88頭/4.32頭】 被害株率（秋冬ネギ）：並【0.00%/0.00%】 幼虫寄生株率（サトイモ）：多【1.87%/0.44%】（＋） 気象予報：気温高（＋）	<u>46</u>
	オオタバコガ	やや多	6月フェロモントラップ誘殺数：やや多【1.65頭/1.03頭】（＋） 気象予報：気温高（＋）	<u>45</u>
ナシ	黒星病	やや少	発病葉率：少【0.73%/1.61%】（－） 発病果率：やや少【0.33%/0.94%】（－） 気象予報：降水量並	<u>24</u>
	シンクイムシ類	並	被害果率：並【0.00%/0.00%】 6月フェロモントラップ誘殺数：並【1.44頭/1.62頭】 気象予報：気温高（＋）降水量並	<u>25</u>
	ハマキムシ類	やや多	被害葉率：やや多【0.09%/0.05%】（＋） 6月フェロモントラップ誘殺数：並【2.01頭/2.26頭】 気象予報：気温高（＋）降水量並	<u>26</u>
	ハダニ類	並	成虫寄生葉率：並【0.09%/0.15%】 気象予報：気温高（＋）降水量並	<u>25</u>
温州ミカン	そうか病	やや多	果実発病度：並【0.36/0.20】 葉の発病度：やや多【0.36/0.25】（＋） 気象予報：気温高（＋）降水量並	<u>26</u>
	ミカンハダニ	並	成虫寄生葉率：並【2.60%/5.94%】 気象予報：気温高（＋）降水量並	<u>28</u>

作物名	病害虫名	予想発生量	予報の根拠 (6月下旬～7月上旬の発生予察結果及び気象予報等)	※
果樹共通	カメムシ類	並	6月予察灯誘殺数：並【7.0頭/12.7頭】 6月フェロモントラップ誘殺数：並【4.70頭/10.37頭】 被害果率(ナシ)：やや多【0.03%/0.02%】(+) 気象予報：気温高(+)	28

* 1 フェロモントラップ誘殺数：1日当たりの誘殺数

* 2 予察灯誘殺数：1か月30日当たりの誘殺数

1 防除に関する措置(共通)

- (1) 病害虫は早期発見に努め、発生初期から薬剤防除する。
- (2) 発病株及び罹病部位は、ほ場外へ持ち出し適切に処分する。
- (3) 害虫の薬剤抵抗性の発達や耐性菌の発生を防ぐため、同系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を行う。
- (4) 病害虫の発生を予防するため、温湿度管理、防虫網の設置、周辺雑草の除草、輪作や緑肥作物の栽培等の耕種的防除及び物理的防除に努める。

2 個々の病害虫に関する防除上の注意事項

- (1) イネカメムシ(イネ)

令和7年度病害虫発生予報第3号P3「これから注意を要する病害虫」
も参照する。



- (2) 斑点米カメムシ類(イネ)

令和7年度病害虫発生予察注意報第1号「大型斑点米カメムシ類、カスミカメムシ類による斑点米発生に注意」も参照する。



- (3) シロイチモジヨトウ(ネギ)

令和6年度病害虫発生予察注意報第4号「シロイチモジヨトウによるネギの食害に注意」も参照する。



- (4) オオタバコガ(野菜・花き共通)

令和6年度病害虫発生予察注意報第3号「オオタバコガの多発生に注意」も参照する。



II これから注意を要する病害虫

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）～均平による防除～

スクミリンゴガイは、移植直後の水稲を食害して減収させる。寒さには弱い乾燥には強く、水田や水路で越冬し、春期に気温が上昇すると活動を再開する。6月上旬に県内70地点で行った調査では、1㎡当たり貝数が過去10年と比較して2番目に高い値となり、近年増加傾向にある（図1）。

本種は水深が浅いと活動が抑制されるため、移植後4葉期まで（移植後約3週間）の「浅水管理」は有効な耕種的防除である。しかし、凹凸があるほ場では深い部分で貝が活動しやすくなり、集中的に被害が生じる（写真1）。翌春の食害を防ぐため、収穫期以降におけるほ場の均平化対策（耕種的防除）、秋冬期の越冬防止対策（物理的防除）を組み合わせた「総合防除」を行うことが重要である。

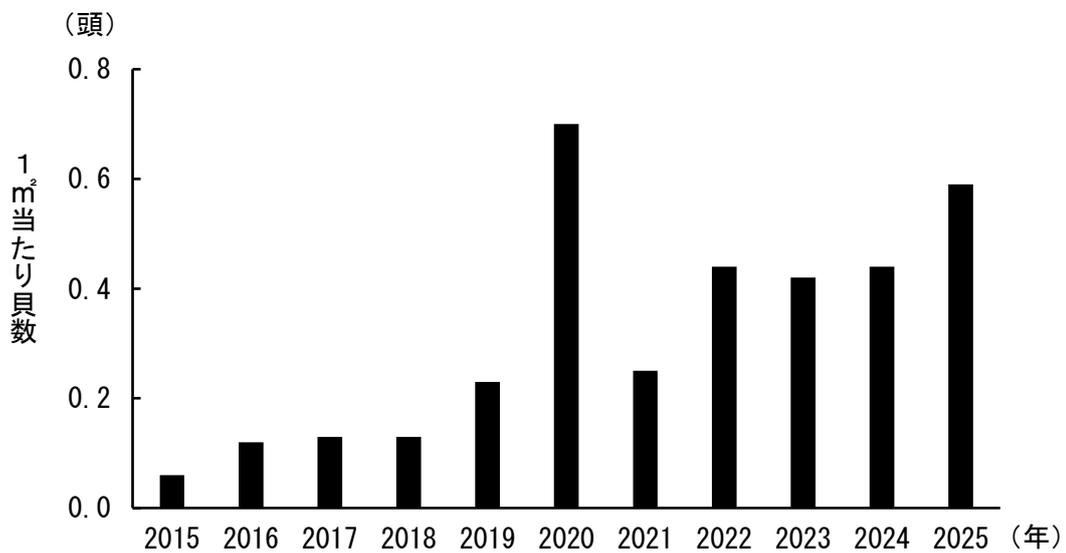


図1 千葉県におけるスクミリンゴガイの1㎡当たり貝数（6月上旬）の推移

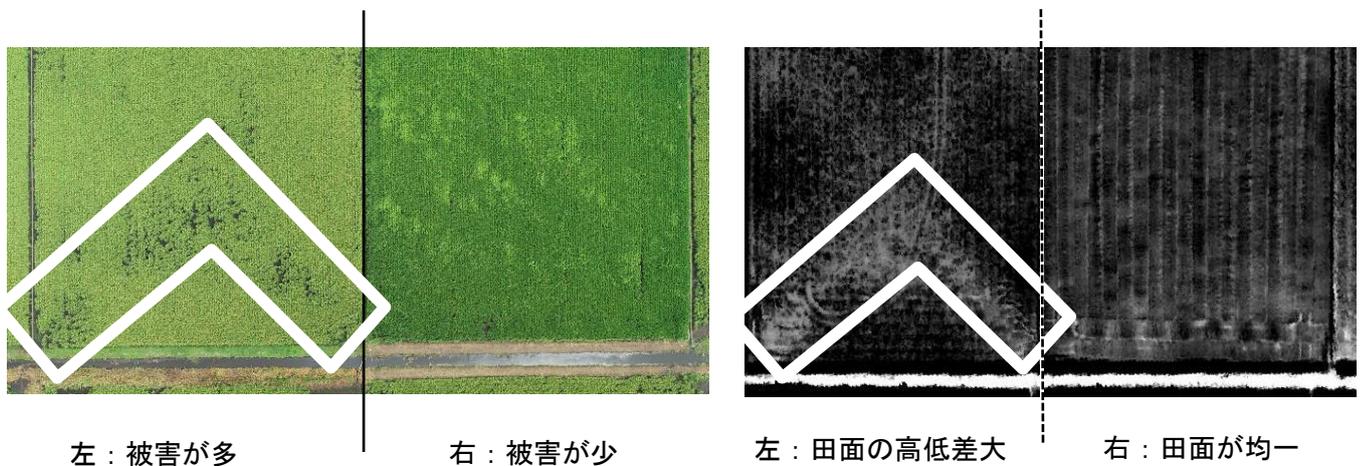
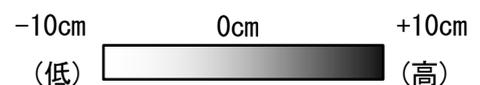


写真1 被害程度の異なるほ場と均平度の比較

枠：被害が集中した部分

※被害が集中した部分と水深が深い部分が一致



〈防除対策〉

1 ほ場の均平化

(1) コンバインの操作

コンバイン操作時、四辺を刈り取る方法（図2左）ではクローラーの切り返し部分が低くなる。この切り返しにより、V字模様に見える深い場所ができ、ほ場に凹凸が生じる。そのため、切り返しを減らす方法（図2右）を用いて、収穫時にできるほ場の凹凸を減らす。

(2) 冬期のほ場整備

水深が深い場所を記録し、冬期に均平化を図る。フロントローダー、整地キャリア等を使用し、土を高い部分から低い部分へ移動させ、均平化を図る（レーザーレベラーによる均平化が図ればなお良い）。

(3) 未発生ほ場への拡散防止

未発生ほ場へ本種を持ち込まないように、農業機械を移動させる際には、泥をしっかりと洗い落とす。また、地区内での発生が一部の場合は、発生地域の作業を最後に行う。

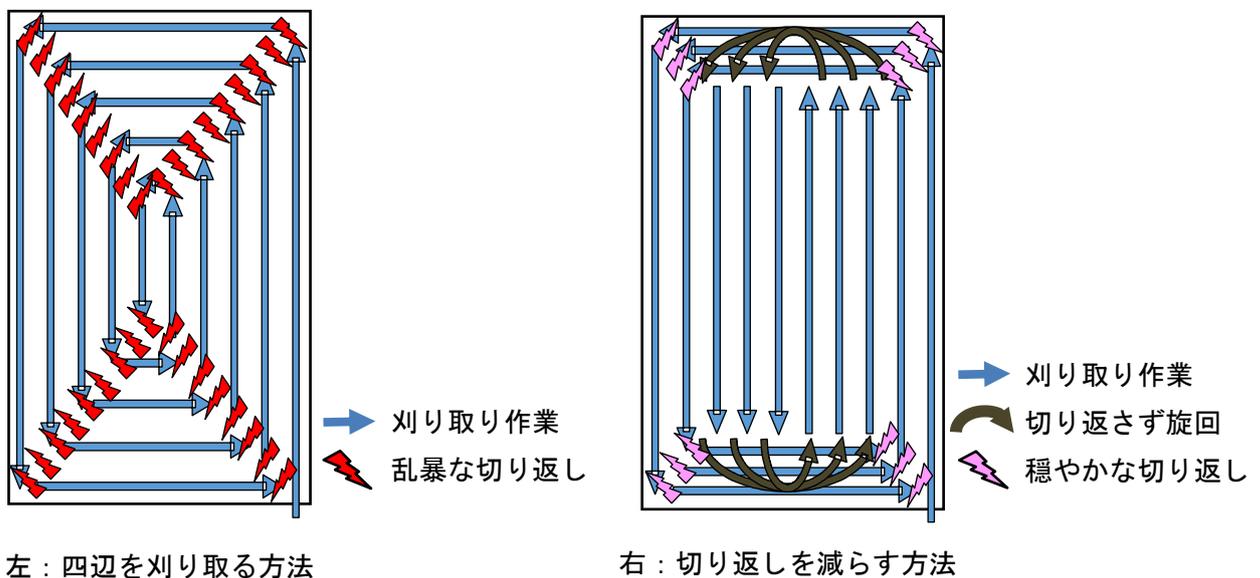


図2 コンバインの操作方法

2 越冬防止対策

(1) 耕うんによる物理的防除

本種の越冬個体を減らすため、冬期の耕うんで殻を破碎し、寒気にさらす。回転速度はPTO2速とし、時速1.4km以下で行うことで、殺菌効果が高まる。土壌が固まっている収穫後1回目の耕うんは、最も防除効果が高くなる。

(2) 水路の泥上げ

水路内の泥を掘り上げ、雑草を除去することで、越冬個体が水系を通じて広がることを防ぐ。掘り上げた泥は、薄く広げて寒気にさらす、または泥の中の貝を潰す等、貝が生き残らないようにする。局所的な実施ではあまり効果が得られないため、地域全体で行う。

II 参考資料

○主要病害虫の発生状況

巡回調査結果（水稲・サツマイモ・ラッカセイ・サトイモ・秋冬ネギ：7月上旬、果樹：6月下旬）

作物名 (調査地域)	病害虫名	調査項目	調査結果			備考
			本年値	平年値	前年値	
イネ (県内全域)	いもち病(葉いもち)	発病株率(%)	4.29	6.18	6.86	
	紋枯病	発病株率(%)	0.40	0.06	0.00	
	ごま葉枯病	発病株率(%)	0.57	2.45	0.51	
	イネクロカメムシ	25株当たり寄生成幼虫数	0.91	0.50	0.99	
	フタオビコヤガ	25株当たり寄生幼虫蛹数	0.09	0.02	0.03	
	ニカメイガ	被害株率(%)	0.40	0.15	0.17	
	イチモンジセセリ	25株当たり被害包数	0.00	0.16	0.04	
	セジロウンカ	本田すくい取り捕獲成幼虫数	0.01	0.18	0.73	
	ヒメトビウンカ	本田すくい取り捕獲成幼虫数	2.16	1.38	2.37	
	ツマグロヨコバイ	本田すくい取り捕獲成幼虫数	0.13	0.51	0.16	
	フタオビコヤガ	本田すくい取り捕獲成幼虫数	0.51	0.20	0.24	
	クモヘリカメムシ	本田すくい取り捕獲成幼虫数	1.76	0.45	0.61	
	ホソハリカメムシ	本田すくい取り捕獲成幼虫数	0.14	0.03	0.04	
	イネカメムシ	本田すくい取り捕獲成幼虫数	0.33	0.04	0.31	
	シラホシカメムシ類	本田すくい取り捕獲成幼虫数	0.01	0.02	0.07	
	ミナミアオカメムシ	本田すくい取り捕獲成幼虫数	0.01	0.00	0.00	
	アカヒゲホソミドリカスミカメ	本田すくい取り捕獲成幼虫数	0.04	0.06	0.00	
	アカスジカスミカメ	本田すくい取り捕獲成幼虫数	1.06	0.20	0.40	
	クモヘリカメムシ	雑草地すくい取り捕獲成幼虫数	7.99	0.76	2.63	
	ホソハリカメムシ	雑草地すくい取り捕獲成幼虫数	3.36	1.25	3.97	
イネカメムシ	雑草地すくい取り捕獲成幼虫数	0.24	0.04	0.31		
シラホシカメムシ類	雑草地すくい取り捕獲成幼虫数	1.44	0.42	1.29		
ミナミアオカメムシ	雑草地すくい取り捕獲成幼虫数	0.43	0.02	0.01		
アカヒゲホソミドリカスミカメ	雑草地すくい取り捕獲成幼虫数	5.49	4.10	12.81		
アカスジカスミカメ	雑草地すくい取り捕獲成幼虫数	84.06	24.96	59.14		
サツマイモ (印旛・香取)	ナカジロシタバ	寄生幼虫数	0.00	0.12	0.20	
	イモキバガ	寄生幼虫数	0.20	0.22	0.00	
	イモキバガ	被害葉率(%)	1.00	1.14	0.40	
ラッカセイ (千葉・君津)	そうか病	発病度	0.00	0.00	0.00	
	褐斑病	発病度	1.30	4.74	4.40	
	黒渋病	発病度	0.00	0.02	0.00	
	白絹病	発病株率(%)	0.00	0.06	0.10	
秋冬ネギ (長生・山武)	黒斑病	発病度	0.13	0.35	0.25	
	さび病	発病度	0.00	1.13	0.75	
	べと病	発病株率(%)	0.00	0.13	0.00	
	ネギアザミウマ	寄生株率(%)	7.50	16.52	16.50	
	ハスモンヨトウ	被害株率(%)	0.00	0.00	0.00	
	シロイチモジヨトウ	被害株率(%)	0.00	0.20	2.00	
	ネギコガ	被害株率(%)	0.00	0.16	0.00	
ネギハモグリバエ	被害度	0.00	1.06	0.13		
サトイモ (山武・印旛・君津)	ハスモンヨトウ	幼虫寄生株率(%)	1.87	0.44	1.87	
	アブラムシ類	成幼虫寄生程度	19.07	20.04	15.27	
	ハダニ類	成虫寄生程度	35.47	17.18	27.40	
ナシ (県内全域)	黒星病	発病葉率(%)	0.73	1.61	1.33	
	黒星病	発病果率(%)	0.33	0.94	1.00	
	赤星病	発病葉率(%)	0.03	0.24	0.03	
	シンクイムシ類	被害果率(%)	0.00	0.00	0.00	
	ハマキムシ類	被害葉率(%)	0.09	0.05	0.09	
	ハダニ類	成虫寄生率(%)	0.09	0.15	0.52	
	アブラムシ類	成幼虫寄生新梢率(%)	0.09	4.11	3.36	
	ニセナシサビダニ	被害新梢率(%)	0.52	4.07	0.39	
温州ミカン (安房)	そうか病	果実発病度	0.36	0.20	0.84	
		葉の発病度	0.36	0.25	0.68	
	かいよう病	果実発病度	0.00	0.00	0.00	
	黒点病	果実発病度	0.00	0.00	0.00	
	ヤノネカイガラムシ	成幼虫寄生率(%)	0.00	0.00	0.00	
	ミカンハダニ	成虫寄生率(%)	2.60	5.94	0.60	
	アブラムシ類	成幼虫寄生新梢率(%)	0.00	0.24	0.00	
	ミカンハモグリガ	幼虫寄生率(%)	0.20	0.10	0.40	

トラップ月間誘殺数（6月）

区分	調査害虫名	トラップ設置場所	誘殺数			備 考
			本年値	平年値	前年値	
水稲予察灯	セジロウンカ	千葉	0.0	0.0	0.0	頭/月
		香取	0.0	0.9	0.0	
		安房	0.0	0.0	0.0	
	ヒメトビウンカ	千葉	1.1	0.5	0.0	
		香取	0.0	3.4	0.0	
		安房	0.0	0.6	1.0	
	ニカメイガ	千葉	2.1	0.7	1.0	
		香取	2.0	1.8	6.0	
		安房	0.0	0.3	1.0	
	イネクロカメムシ	千葉	1.1	3.0	0.0	
		香取	10.0	1.9	1.0	
		安房	17.0	6.2	3.0	
	クモヘリカメムシ	千葉	2.1	0.3	3.0	
		香取	0.0	0.3	2.0	
安房		13.0	0.2	0.0		
ホソハリカメムシ	千葉	1.1	0.0	0.0		
	香取	1.0	0.4	0.0		
	安房	1.0	0.2	1.0		
シラホシカメムシ類	千葉	1.1	-	0.0		
	香取	0.0	-	0.0		
	安房	0.0	-	0.0		
イネカメムシ	千葉	10.7	3.2	13.0		
	香取	14.0	0.9	9.0		
	安房	25.0	0.1	0.0		
ミナミアオカメムシ	千葉	1.1	0.5	5.0		
	香取	0.0	0.0	0.0		
	安房	38.0	0.6	1.0		
アカヒゲホソミドリカスミカメ	千葉	43.9	18.6	18.0		
	香取	17.0	7.8	13.0		
	安房	64.0	6.1	6.0		
アカスジカスミカメ	千葉	432.9	57.4	207.0		
	香取	34.0	2.4	3.0		
	安房	251.0	38.4	59.0		
果樹予察灯	チャバネアオカメムシ	安房	3.0	2.7	4.0	頭/月
	クサギカメムシ	〃	2.0	2.6	4.0	
	ツヤアオカメムシ	〃	2.0	7.4	2.0	
性フェロモン	ドウガネブイブイ	印旛、香取	5.92	6.08	6.48	頭/日
	ヒメコガネ	印旛、香取	0.25	0.31	0.32	
	コナガ	海匠	3.22	5.00	1.35	
	ハスモンヨトウ	県内全域	4.88	4.32	4.51	
	シロイチモジヨトウ	県内全域	1.41	0.40	2.04	
	オオタバコガ	県内全域	1.65	1.03	2.44	
	タバコガ	県内全域	0.32	0.42	0.67	
	ナシヒメシンクイ	東葛飾、印旛	1.44	1.62	3.50	
	モモシンクイガ	東葛飾、印旛	0.00	0.00	0.00	
	チャハマキ	東葛飾、印旛	0.31	0.46	0.46	
チャノコカクモンハマキ	東葛飾、印旛	1.70	1.80	2.94		
チャバネアオカメムシ集合フェロモン	チャバネアオカメムシ	県内全域	4.55	9.64	26.97	頭/日
	ツヤアオカメムシ	〃	0.04	0.17	0.60	
	クサギカメムシ	〃	0.11	0.55	1.81	
	マルボシヒラタヤドリノエ (天敵)	〃	0.47	1.51	2.12	

注) 種類別の単位の違いに注意

○気象予報

7月10日気象庁発表

関東甲信地方における向こう1か月間の確率(%)

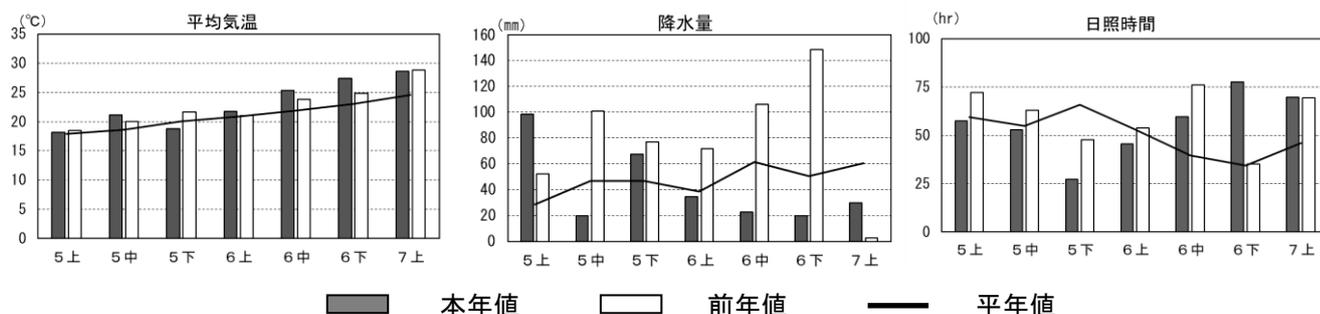
要素	低い・少ない	平年並	高い・多い
気温	10	20	70
降水量	30	30	40
日照時間	30	40	30

出典：気象庁ホームページ

向こう1か月間の各気象要素の平年値

(7月12日～8月11日)

要素	千葉	銚子	館山
気温(°C)	26.7	24.6	26.2
降水量(mm)	100.2	89.3	121.6
日照時間(hr)	183.3	205.7	206.3



過去2か月の気象概況(アメダス千葉、銚子地方気象台提供)

農薬は適正に使用しましょう。無登録農薬の使用はできません。

- 農薬は、農薬取締法に基づいて、使用できる農作物の種類、適用病害虫、希釈倍数、収穫前日数、総使用回数などが定められています。
- 登録番号のない薬剤は、農薬として使用できません。登録農薬には必ず登録番号が記載されています(記載例 農林水産省登録第〇〇〇号)。
- 農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。
- 飛散しないよう工夫して散布しましょう。
- 農薬を使用したら必ず記帳するようにしましょう。
- タンクやホースは洗いきれいなおきましょう。

・病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>

・次回の発行予定は8月13日です。
なお、注意報等の臨時情報は逐次発行されます。

・県内で栽培される主要な農作物に発生する病害虫や雑草を
防除するための指針が千葉県HPで公開されています。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/shokubo/bojoshishin.html>

・薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。

<https://pesticide.maff.go.jp/>

問合せ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp

